

<2019年度 ハローオリンピック事業>
オリンピック教室

実施報告書

群馬県 太田市立東中学校



「オリンピック教室」の実施にあたって

現行の学習指導要領から、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目 体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが示されました。中学校3年生では、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしている」現状を通して、オリンピックの意義を学習することになっています。そこで、JOCでは、中学校3年生の体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、平成23年度から「ハローオリンピズム事業」の一つとして、授業形式で行う「オリンピック教室」を実施してきました。

近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表としてオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その榮譽を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められますが、オリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることが期待されます。

「オリンピック教室」の授業では、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）等を伝えます。同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身が学ぶこともねらいとしております。

平成29年3月公示の新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫や改善が求められています。「オリンピック教室」でのふれあいの中での学びが、教科の枠を越え、これからの社会や人生に活かせる資質や能力を育む一助になることを期待しております。また、この授業を通して、生徒の皆さんが、運動やスポーツが好きになり、生涯にわたり豊かなスポーツライフの実現につながることも願っています。

令和元年5月

公益財団法人 日本オリンピック委員会

- 実施目的** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、オリンピック自身の様々な経験を通して「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、日常生活にも活かすことの出来るものであることを学習してもらう
- 名 称** : JOCオリンピック教室
- 主 催** : 公益財団法人 日本オリンピック委員会
- 後 援** : スポーツ庁
- 協 力** : 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対 象** : 中学2年生
- 講 師** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）
※派遣オリンピックはJOC側にて選定
- 期 間** : 2019年4月～2020年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数** : 80校程度
- 実施方法** : クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

1時限目
運動の時間 (50分)



2時限目
座学の時間 (50分)



※学校の通常の授業時間をベースに実施
※運動の時間と座学の時間の間に10分の休憩時間があります

1時限目

運動の時間

オリンピックの専門競技の技術指導（＝スポーツ教室）ではなく、
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶（5分）

準備体操（10分）

主運動（30分）

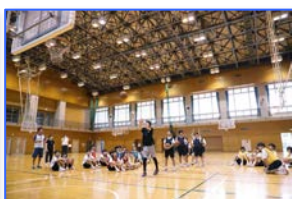
まとめ（5分）



自己紹介
今日の学習内容の確認



準備体操



主運動
（作戦タイム等を設け、
生徒が考える機会を作る）



運動の授業のまとめ

※時間は目安です
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

2時限目

国際オリンピック委員会（IOC）が推進する「オリンピックの価値」等を、
オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、あるいは実際に
オリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えると
同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、今後に活かせるような学習内容

座学の時間

挨拶・自己紹介（10分）

オリンピックの価値を伝える（10分）

グループワーク（20分）

まとめ（10分）



学習内容の確認



写真・映像等を使用
した自己紹介



オリンピック自身の経験に
基づく「オリンピックの価値」等
を伝える



グループ（個人）ワークで
話し合った内容を発表



全体のまとめ/記念撮影

※時間は目安です
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

実施内容

■期 日 : 2019年12月17日 (火)

■ク ラ ス : 2年1組 (33名) 、2年3組 (33名)

■オリンピアン : 沖 美穂 先生 (自転車) 【出場オリンピック/シドニー大会、アテネ大会、北京大会】

■授業のながれ : 運動の時間 (3時限、5時限)

1. 自己紹介～授業の目的確認



- ・自己紹介し、競技用の自転車について説明し、今日の授業を通して、オリンピックバリュー(エクセレンス、フレンドシップ、リスペクト)について伝えたいと授業の目的を確認。「ベストを尽くして、チームワークよく、フェアプレーをする」を目標に、運動の時間は体を動かし楽しみながらオリンピックバリューを感じてもらいたいと伝え、準備体操に移る。
- ・準備体操として、ストレッチ、じゃんけん勝ち抜けを実施。

2. 準備体操



3. 主運動



- ・8の字跳び(90秒×3回)を2班毎3チームに分かれて実施。引っかかっても続きから数えるとして、1回毎に記録を伸ばすための作戦を話し合う。
- ・次にクラス全員で大縄跳びにチャレンジした。

4. まとめ



- ・運動の時間を振り返り、楽しく取り組む事ができたか問い掛け、何事においても楽しむことが一番大切であり、長く続ける秘訣であると話す。もしチームで何かに取り組む時、その結果が悪かったとしても仲間のせいにするのではなく、自分自身がどうするか、目標を立てて考えてほしい。次の座学の時間では、オリンピックバリューについてより詳しく学び、考えたことを発表してもらおうと予告し、授業終了。

■授業のながれ：座学の時間（4時限、6時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



- ・スライドを見せながら自己紹介。オリンピックシンボルについて使用されている6色で世界のほぼ全ての国旗を描くことができること等を説明。
- ・自身の経験を通じて感じたオリンピックバリューについて、「エクセレンス＝卓越、ベストを尽くし頑張る、最後まで諦めない、貫く心」、「フレンドシップ＝友情、一緒に戦う仲間、心の友情、友人からの支え」、「リスペクト＝敬意／尊重、ライバルへの称賛、素晴らしい結果には拍手」と説明。

2. オリンピックの価値を伝える



3. グループワーク



- 発問：夢や目標を実現させるためには何が必要か、オリンピックバリューに当てはめて考えてみよう。
- 発表：各班の代表者1名が前に出て発表。（抜粋、順不同）
- エクセレンス：「一生懸命練習する」「勉強する」「必要なことを毎日続ける」等
- フレンドシップ：「チームメイトを大切に」「仲間とのコミュニケーション」「協力する」等
- リスペクト：「相手に対して優しく接する」「全てのことに感謝する」「うまい人の真似をする」等

4. まとめ



- ・昨日より今日、今日より明日と目標を高く立てて挑戦を続け、過去の自分を越えてきた積み重ねが、最終的にオリンピック出場につながった。
- ・夢を口にすることは、自分の思いが通じたり、目標を達成するきっかけとなる。自分の夢を人にどんどん伝えて叶えてほしいと話し、授業終了。

実施内容

■期 日 : 2019年12月18日 (水)

■ク ラ ス : 2年2組 (33名)、2年4組 (33名)

■オリンピアン : 内田 翔 先生 (水泳/競泳) 【出場オリンピック/北京大会】

■授業のながれ : 運動の時間 (3時限、5時限)

1. 自己紹介～授業の目的確認



- ・自己紹介をし、オリンピックバリュー(エクセレンス、フレンドシップ、リスペクト)については座学で詳しく説明するので、運動の時間は言葉だけ意識に留めておいてほしいと伝えた。「目でも顔きだけでもいいので内田先生の言ったことに反応すること」「疑問に思ったら質問すること」「理解したことがあれば発言すること」「楽しければ笑うこと」をルールに、元気に楽しく授業に取り組んでほしいと伝え、準備体操に移る。
- ・準備体操として、ストレッチ、先生の指示にすばやく反応する運動、じゃんけん勝ち抜けを実施。

2. 準備体操



3. 主運動



- ・ボール送りリレー (全4回) を2班毎3チームで実施。班毎に縦に並び、ボールを体の左右から交互に後ろに渡していくリレー。ゴールまでのタイムを競う。途中からボールを2個に増やして実施する。1回毎にタイムを上げるための作戦を話し合う。

4. まとめ



- ・運動の時間を振り返り、最後まで投げやりにならなかったことや声掛けができていたこと、ボールが2個に増えた際も工夫を凝らした作戦を考えてくれたことがよかったと話し、また失敗した時に悔しく感じるの、一生懸命前向きに取り組んだ証拠だと伝えた。
- ・次の授業ではオリンピックバリューを更に詳しく説明していくので、自分の目標をどうしたら達成できるか考える時間にしたいと予告し、授業終了。

■ 授業のながれ：座学の時間（4時限、6時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



- ・スライドを見せながら自己紹介。オリンピックシンボルについて、5つの輪が5大陸を表していること等を説明。
- ・自身の経験を通じて感じたオリンピックバリューについて、「エクセレンス＝卓越、ベストを尽くし頑張る、最後まで諦めない、貴く心」、「フレンドシップ＝友情、一緒に戦う仲間、心(真)の友情、友人からの支え」、「リスペクト＝敬意／尊重、ライバルへの称賛、素晴らしい結果には拍手」と説明。

2. オリンピックの価値を伝える



3. グループワーク



- 個人発問：夢や目標を達成するためには今後どのように取り組むべきかを考えてみよう。
 グループ発問：個人で考えたことをグループ内で発表し、書き出してみよう。
 発表：各班の代表者1名が前に出て発表。（抜粋、順不同）
 エクセレンス：「目標を意識しながら生活する」「コツコツ努力する」「一生懸命やる」等
 フレンドシップ：「助け合う」「励まし合う」「友情を大切にする」等
 リスペクト：「感謝の気持ちを忘れない」「周りの意見を聞いてみる」等

4. まとめ



- ・試合前に緊張を鎮めたい時はファンの歌手の歌を聞いていた。実際にその歌手に会うことができた時、「僕は歌で君はスポーツで日本を元気にしよう」と声を掛けられた。皆もはつらつとした笑顔で周りの人を元気にしてほしいと話す。「人生に夢があるのではなく夢が人生をつくる」という言葉を紹介。努力を重ね、前向きな気持ちを持って笑顔で過ごすことができれば必ず夢は叶うので、大いに今を楽しみながら生活してほしいと伝え、授業終了。